

土地利用（計画的な土地利用）について

「大衡村中心市街地整備基本計画」は、ときわ台団地・平林地区計画区域と五反田・亀岡地区計画区域の間に位置する中央地区のうち、国道4号沿道の東部地区について、区画整理事業を想定し、また、国道457号沿道の西部地区について、地区計画を想定しております。

仙塩広域都市計画定期見直しでの市街化編入については見送られることとなりますが、これまで関係機関との協議の中で明確となった課題を踏まえながら、引き続き検討してまいります。



▲第二仙台北部中核工業団地



▲住宅建築が進むときわ台南住宅団地

市街地整備（魅力ある市街地の形成）について

万葉クリエートパークと第二仙台北部中核工業団地に隣接する、地域活性化交流施設の整備は、農産物展示販売所「万葉・おおひら館」やコンビニエンスストアに加え、障害者福祉施設が整備されました。残る未利用地につきましては、住民の交流と地域の活性化を目指し、整備手法や管理運営形態も含めさらに検討を重ねてまいります。

交通体系（みんなが利用できる交通体系）について

国道4号4車線化事業につきましては、昨年開催された住民説明

会での意見を参考にしながら、調査設計と並行して用地調査が進められており、本村でも、県内国道4号沿線市町村及び立地企業で組織する「国道4号拡幅改良（4車線）建設促進期成同盟会」と村が一丸となって、早期完成に向け強力に要望活動を実施してまいります。

村道の整備につきましては、国土交通省防災・安全交付金を活用した奥田大森線改良舗装事業（継続事業（改良舗装）及び尾西中山線改良舗装事業（継続事業（改良舗装））、辺地債を活用した大瓜南側線改良舗装事業（継続事業（改良舗装））の実施を予定しております。

道路照明灯や案内看板・標識等の道路付属物や道路沿線の支障木等につきましては、定期的な道路パトロールの実施により、円滑な道路交通に支障が生じないよう適時適切な維持管理に努めてまいります。

生活環境（安心して快適に暮らせる生活環境）について

「ときわ台南住宅団地」は住宅建築が始まっている区画もあり、着実に定住化が図られております。なお、販売事務所用地2区画も、契約・登記事務の目途がつき

事故の防止に万全を期すよう要請しております。



▲万葉クリエートパーク「わんぱくランド」

みんなが主役の新しいまちづくり

行政運営（計画的な総合行政）について

今年度から2カ年にわたり第6次大衡村総合計画の素案を策定します。第5次大衡村総合計画との整合性を図るとともに、素案の評価・検証や住民の意見を幅広く求めながら策定してまいります。

また、「大衡村地方創生総合戦略」の具現化に向け、各種目標に

次第、分譲する計画としております。また、海老沢地区の未利用地の解消や、五反田・亀岡地区整備計画区域の拡大について検討を行い、更なる定住促進やコンパクトで良質なまちづくりを促進してまいります。

村営住宅は、大衡村公営住宅等長寿命化計画に基づき、引き続き五反田住宅の大規模改修を行い、内部修繕の必要性等も調査しながら、総体的な修繕工事を実施してまいります。住宅の維持管理につきましても、入居者の声に耳を傾けながら居住環境の向上と適切な維持管理に努めてまいります。

環境保全活動につきましては、みやぎ環境交付金を活用した中学



▲中学校で照明器具のLED化

掲げた施策を一体的に進めながら、地方創生の実現に努めてまいります。

さらに、「大衡村公共施設等総合管理計画」の趣旨に基づき、村が保有・管理する公共施設の調査・分析、施設の再配置や統廃合、中長期的なメンテナンスサイクルの構築等、公共施設の最適化の実現に努めてまいります。

財政運営（経営的視点に立った財政運営）について

住民自治を支える根幹である税収の確保につきましては、平成30年度税制改正大綱の趣旨に基づき、各税目の課税客体的確な把握に努めるとともに、納税者の立場に立ち「公平・透明・納得」のもとに適切に業務を執行してまいります。

まちづくり（共に育むまちづくり）について

「開かれた行政」の体制として、情報公開を進めるとともに、皆さんが自ら参画、行動できる地区活動を支援してまいります。

また、イベント等の企画からの住民参画等、協働活動を進めるとともに、情報提供の充実と共有化に努めてまいります。

校照明器具のLED化を図ってまいります。

衡中北地区の集会所整備につきましては、集会所の新築に向けた実施設計を行い、地区住民の方々の利便性の向上に努めてまいります。



▲第6分団消防ポンプ小屋（奥田地区）

防犯・防災（安全で安心な暮らし）について

犯罪を未然に防止し、皆さんが安心して暮らせるよう、あらゆる機会を活用して防犯意識の高揚を図るとともに、警察署を始め防犯協会や少年保護員、小学校・中学

防衛施設（防衛施設との連携）について

沖縄駐留米軍による実弾砲撃訓練は、平成31年1月下旬から2月下旬にかけて実施されることが発表されております。国に対しては、日頃からの住民の不安解消による信頼関係の構築は元より、事件・

なお、消防団の機能充実を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、第6分団へ軽消防自動車導入とポンプ小屋の整備を行う予定としております。

昨年、村内の火災発生は4件で、その内3件は建物火災となっております。今後も火災予防について呼び掛けるとともに、消防団の機能充実を図りつつ消防署との連携を密にしながら、火災予防に万全を期してまいりたいと考えております。

治水対策として、国土交通省で事業化されました衡下地区への善川遊水地の整備計画につきましては、地区の方々の声に耳を傾けながら、地元にとってより良い治水対策となるよう国に強く働きかけてまいります。